

ページ 2

## Basic Information / 基本情報

### Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013年5月1日～2013年9月22日

### Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

114members

### Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

協力：一榑高松駅弁、四国旅客鉄道榑、一般社団法人まちテレ、香川県ホテル旅館組合、香西志帆 氏、香川県内高校6校  
立高松北高等学校、香川県立高松商業高等学校、坂出第一高等学校、香川県立坂出商業高等学校、香川県立笠田高等学校、学校法人高松中央高等学校

後援：一香川県、高松市、香川県教育委員会、高松市教育委員会、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、地元メディア16社  
朝日新聞高松総局、読売新聞高松総局、毎日新聞高松支局、産経新聞高松支局、株式会社四国新聞、株式会社高松リビング新聞社、NHK高松放送局、西日本放送株式会社、株式会社瀬戸内海放送、岡山放送株式会社、テレビ瀬戸内株式会社、山陽放送株式会社、株式会社エフエム香川、株式会社ケーブルメディア四国、ナイスタウン出版株式会社、有限会社香川こまち

協賛：一株式会社アークス、朝日税理士法人、株式会社エヌエヌストーン、株式会社グローバルセンター、株式会社ケアサービスかがわ、株式会社四国ビルメンテック、株式会社タカハタ、株式会社ビーバーホームズ、有限会社増田畜産、株式会社松本製作所、株式会社村上製作所

### Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

\$7,835 — 英語分からないっす

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

NONEなし

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

香川県に住み暮らす人々

そのうち特に高松に住み暮らす人々42万人

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

私達 JCI 高松が行う本事業は、地域の魅力を発信し、持続可能な地域社会を確立するため、ことを目的とする。

この目的のために、私たちは地域社会の為に自発的・積極的に行動する若い市民 (ACTIVE CITIZENS) を育成することを目的として実施した。しなければならない。そのために、私たちは若者達が持続可能でより魅力ある地域社会造りに前向きに取り組むように POSITIVE CHANGE を起こす機会を与えることを目標として事業を実施する。

具体的な目標としては以下の通りである。

- (1) これからの未来を担う若者達をターゲットとして、地域の魅力、課題を発信する
- (2) 若者達自身が地域の課題を克服する方法について考え、行動する機会を与える
- (3) JCI 高松が地域の公共団体、民間企業とのネットワークを構築し、彼らをこの事業に巻き込み、より大きな運動とする。
- (4) 参加者である若者やイベントの来場者に JC の事を知ってもらい、JC の知名度を上げ会員拡大を行う。

する。特にこれからの未来を担う若者達をターゲットとして、地域の魅力をただ発信するだけでなく、地域の課題を克服し、それをさらに昇華させ魅力に繋げる、そんな前向きな人材を育成することを支援する。それにより、若者を中心として市民に前向きな意識変革が生まれ、持続可能でより魅力ある

書式変更：リスト段落、段落番号 + レベル：1 + 番号のスタイル：1, 2, 3 ... + 開始：1 + 配置：左 + 整列：0 mm + インデント：12.7 mm

書式変更：リスト段落、インデント：左：12.7 mm

地域社会を形成することができる。これからの未来を担う若者たちの支援、育成を促し、前向きな変化を作り出すこととする。

## Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

私達 J C I 高松は目的を達成する為には、まず市民にその地域を知り、愛着をもつ必要があると考えた。地域の将来を担うことが期待され、具体的な行動を起こすことが可能な高校生をターゲットとすることとした。

我々は、実行委員会を組織し、公共団体および民間企業の支援を得て、対象である高校生に対し 1. さぬき駅弁コンテスト、2. ミニ番組制作甲子園、3. ぶっ飛ぶさぬきの写真展の 3 つの事業を展開した。

実施に当たっては、教育委員会を通じて県内のすべての高校に PR を行い、6 校の高校から参加者を得ることができた。

3 つの事業の発信の場として、一日約 12,000 人の乗客数があり地域の中心的な駅である JR 高松駅構内でイベントを行った。

各イベントの詳細は以下の通りである。

特に若者により多く地域の魅力、課題を知ってもらう為に、私たち J C I 高松は実行委員会を組織し、高校生を主体として以下の 3 つの事業を展開した。

### 1. 1. さぬき駅弁コンテスト

この事業には、5 X チーム XX30 人の高校生が参加した。

- ① ① 駅弁は、鉄道駅や列車内の売店で売られている弁当である。駅弁は各地の名産食材を詰め込んでおり、地域の食文化をアピールする手段の一つとなっている。高校生に各チームに、高松オリジナルの駅弁のレシピ制作、試作品制作、試食、販売を体験してもらった。高校生が自ら地域の名産品を調査し、地域の名産品の活用方法を自ら考える機会を作ることができた。
- ② 試食、販売を実際に駅で行うことで、駅を通る人、イベントに参加する市民が地元の食材の良さを知ってもらう機会を作った。駅弁は、鉄道駅や列車内の売店で売られている弁当で、各地の名産食材を詰め込んでおり、地域の食文化をアピールする手段の一つとなっている為、高校生が地域の名産品を知る絶好の機会を提供した。
- ③ ② 各チームが作成した独自の駅弁を本事業をコンテスト形式で専門家が審査した。弁当販売会社に協力を得て、開催し、コンテストで優秀だった作品は実際に一般販売されるようにするようにした。それにより高校生のやる気を引き出した。さらに、長期的に弁当を買う消費者にも地元の食材弁当販売会社に協力を得て、高校生によりやる気になってもらえるよう促したの良さを知ってもらう機会を作った。

コメントの追加 [鎌田長明1]: どんな POSITIVE CHANGE が起こるのでしょうか？それによってどうなるのでしょうか？

西川説明加えましたが、自信ありません。

書式変更: リスト段落、段落番号 + レベル : 1 + 番号のスタイル : 1, 2, 3 ... + 開始 : 1 + 配置 : 左 + 整列 : 0 mm + インデント : 7.9 mm

書式変更: リスト段落、段落番号 + レベル : 1 + 番号のスタイル : ①, ②, ③ ... + 開始 : 1 + 配置 : 左 + 整列 : 3.4 mm + インデント : 9.8 mm

## 2. 2. ミニ番組制作甲子園

この事業には、5Xチーム25XX人の高校生が参加した。

① ① 高校生の各チームが、自分たちでアイデアを出して、地域の魅力を能動的に発見できるような15分未満の番組制作大会を高校生主体で開催した。を製作した。高校生が自ら地域の魅力を調査し、その発信方法を自ら考える機会を作ることができた

②

② 技術的に不足する部分は、専門家の協力を得て完成させた。

③ 製作された番組は、イベント中に駅構内の大画面で放送され、駅を利用する多くの市民が地域の魅力を知ることとなった。

④ ② 本事業をコンテスト形式で開催し、コンテストで優秀だったチームには優秀賞の賞状が授与された。

## 3. 3. ぶっ飛ばさぬきの写真展

この事業には、6Xチーム16XX人の高校生が参加した。

① ① 高校生の各チームが香川県の風景・名産品を高校生の柔軟な発想や視点でとらえ、それを自分たちのアイデアでとらえた写真作品を製作・展示した。高校生が自ら地域の魅力を調査し、その発信方法を自ら考える機会を作ることができた。

② イベント開催中、作品64枚を会場に展示し、来場された多くの市民に地域の魅力を知ってもらう機会とした。

③ ② 又、展示された写真をフェイスブックの「いいね！」の数で競うコンテストも併せて開催し、会場に來られていない市民にも魅力を発信できる場とした。

上記これら3つの事業に高校生が積極的に参加する能動的に行ってもらうように、以下の点に力を入れた。学校説明会に力を入れた。

① 学生、教員に対しての説明会を開催した。

② なお、高校生の取り組みを多くの市民に地域の魅力に触れていただくため、JR高松駅を会場として事業を展開した。JR高松駅はと、香川県、愛媛県、徳島県、高知県における鉄道の基点となる駅で、一日約12,000人の乗客数があり地域の中心的な駅である。

③ テレビ、ラジオ、新聞等多くの広告媒体を通じて広報活動を広く行った。

④ オリジナルのポスター200枚を作成し広報活動を行った。

高校生に地域の魅力を発見、又、再確認してもらうために県産品を使った駅弁のレシピ作成、販売体験をしてもらうこととした。

2. 地域の魅力を能動的に発見できるようなミニ番組制作大会を高校生主体で開催することとした。

書式変更: リスト段落、段落番号 + レベル: 1 + 番号のスタイル: 1, 2, 3 ... + 開始: 1 + 配置: 左 + 整列: 0 mm + インデント: 7.9 mm

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

コメントの追加 [鎌田長明2]: ミニ番組とは何かの説明が必要です。

西川説明加えました。

書式変更: リスト段落、段落番号 + レベル: 1 + 番号のスタイル: 1, 2, 3 ... + 開始: 1 + 配置: 左 + 整列: 0 mm + インデント: 7.9 mm

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

書式変更: 下線なし、フォントの色: 自動

書式変更: 下線なし、フォントの色: 自動

コメントの追加 [鎌田長明3]: 駅弁文化は日本固有なので説明が必要です。

西川説明加えました。

コメントの追加 [鎌田長明4]: 下に文章を合わせて、「高校生主体で・・・」、という所を入れて下さい。

文全体を見直し、対応しました。

コメントの追加 [鎌田長明5]: ミニ番組とは何かの説明が必要です。

西川説明加えました。

これらの事業を高校生に能動的に行ってもらう為に、学校説明会に力を入れた。また、本事業をコンテスト形式で開催することによって、高校生により前向きに考えてもらうようにした。さらに、多くの市民に地域の魅力に触れていただくため、JR高松駅を会場として事業を展開し、テレビ、ラジオ、新聞等多くの広告媒体を通じて広報活動を広く行った。

## Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

・JCI 高松の趣旨に賛同した行政・地域住民・企業が能動的に事業に参画したことによりアクティブシチズンが増加した。

参加員数：高校生71名、引率の先生7人、鉄道を利用する市民や高校生の保護者など市民約1800人約5,000人が我々の事業について認識してもらった。の参加があった。

・参加した高校生の意識が以下のアンケート結果のとおり POSITIVE CHANGE した。

質問：参加して良かったところを教えてください。

回答：香川の魅力を知ることができた(34%) 自分達の企画が具体化できた(29%) 他校の生徒との交流ができた(24%) 香川県以外の人と関わることができた(13%)

質問：事業の準備から当日を通しての意識変化を教えてください。

回答：香川県の魅力を発信することの重要性が分かった(96%) 分からなかった(4%)

香川県に対する理解が深まった(92%) 深まらなかった(8%)

香川県がより好きになった(79%) そうでもない(21%)

地域を活性化する活動に興味をもった(87%) そうでもない(13%)

## 事業に参加した感想

・香川の特産品や郷土料理をより深く知ることができた。

・1人1人が香川の特産品を考えるいい機会になった。

・もっと多くの人に香川県産の特産品を広めていけたらいいなと思った。

コメントの追加 [鎌田長明6]: 地域の中心的な駅であり、1日12000人の乗客数がある  
西川説明加えました。

書式変更: インデント: 最初の行: 0 字

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

書式変更: インデント: 最初の行: 0 字

・学校関係者 6校、協賛者 3社、協力者 2社 などから JCI 高松の事業に今後も協力する旨の話を頂き、持続可能な地域社会の確立に向けて前進した。  
・駅弁コンテストで優勝したグループの弁当を JR 高松駅売店の店頭に並べてもらうことができ、より多くに市民に地域の魅力を再認識する機会を創出した。1日約10個販売されている。

・多くのメディアに地元テレビ局 2社 (視聴エリア香川県全域)、四国新聞 (発行部数約 20万部)、読売新聞 (発行部数約 5万7,000部)、地元タウン情報誌 (発行部数月 2万6,000部) に取り上げてもらったことで、多くの市民が魅力発見の機会を得られた。また、それにより参加した高校生が自信を深め、前向きな変化を生んだ。  
・事業開催前は高松 JCI について高校生はほとんど知らなかった (96%) が、事業したことにより多くの高校生が高松 JCI の取り組みを知っていただいた。

コメントの追加 [鎌田長明7]: ここも具体的数字があった方が説得力があります。  
具体的数字を記入しました。

- 書式変更: フォント: 太字, 小型英大文字, 文字間隔広く 0.25 pt
- 書式変更: フォント: 太字, 小型英大文字, 文字間隔広く 0.25 pt
- 書式変更: フォント: 太字, 小型英大文字, 文字間隔広く 0.25 pt
- 書式変更: フォント: 太字, 小型英大文字, 文字間隔広く 0.25 pt

#### Actions Taken 行動

説明:

全体

2013年

4/3—JCI 高松は運動発信の為、教育委員会と意見交換した。

8/20—高松北高校応援部訪問・出演依頼

8/28—四国企画打ち合わせ

8/28—高松商業高校・書道部訪問・出演依頼

9/9—高松北高校応援部打ち合わせ

9/9—高松商業高校書道部・二宮先生と高松駅で打ち合わせ

9/20—JR 赤城様、四国企画と当日の最終打ち合わせ

駅弁コンテスト

2013年

3/4—JR 高松担当者江崎様と打ち合わせ及び意見交換を行った。

3/14—高松駅弁コンテストに向けて高校生と打ち合わせ及び意見交換を行った。(以後、事業開催まで4回打ち合わせ)

4/3—JCI 高松は運動発信の為、教育委員会と意見交換し協力を仰いだ。

4/9—ミニ番組制作に向けて地域密着インターネット放送局・まちテレ@かがわにて打ち合わせを行った。5/1—高松駅弁打ち合わせ

7/30—高松駅弁打ち合わせ

7/20—県内6校にぶっ飛ぶ写真展の写真投稿依頼を行った。(～8/15まで)

7/26 ミニ番組甲子園に向けて講習会を行った。

8/20 応募・参加申込みのあった駅弁の一次選考を行った。@高松駅弁

8/26 高松駅弁打ち合わせ

9/8 高松駅弁・弁当の試作品打ち合わせを行った。

午前：笠田高校・高松商業高校・坂出第一高校

午後：坂出商業高校2チーム

9/22 事業開催

9/30 協力3者、後援25者へ高松駅弁、後援者に事業報告書持参の上、御礼に伺った。

9/30 参加いただいた高校へ事業報告及びアンケートを行った。

11XX/27XX 理事会にて決算議案審議可決

ミニ番組甲子園

2013年

4/9 まちテレ@かがわにて打ち合わせ

7/26 ミニ番組甲子園 講習会

8/26 収録(高松北高校)

8/29 収録(高松中央高校)

ぶっ飛ぶさぬきの写真展

まだ

## Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

・1. さぬき駅弁コンテスト各事業ともに、地域の魅力発信をテーマに、事前説明を多く行い、あとは自発性に任せたことにより参画する学生がより自由な発想をもって活動するようになった。

結果、地域の魅力、課題を自ら考えるきっかけを提供できた。

・我々が当初目的として想定していたこと以外でも以下のような以上の前向きな行動や思考がみられた。

書式変更：インデント：最初の行：1字

- ・コンテスト形式であるにも関わらず他グループの販売に積極的に協力していた。
- ・商品を買ってもらうためには高校生が一般市民に触れる機会となり、服装や礼儀、又清潔感が最低限必要だと感じた、との感想意見があった。接客の参考になった等の意見があった。・このイベントをする為に多くの人が関わって取り組んでいるんだと感じた。
- ・たとえコンテストで結果が出なくても、素直な気持ちで賞賛しようとする姿勢がみられた。
- ・他校の生徒が積極的に取り組む姿勢に刺激を受け、自分の取り組みを反省していた。・自発的・積極的に行動する市民の育成という我々が掲げた目的を多くの市民に理解され賛同を得ることができた。
- ・協力団体をはじめ、多くの市民に地域の魅力を知っていただけた。
- ・市民が、自発的、積極的に行動を起こすことに成功した。
- ・地域が持つ独自の魅力を新聞、テレビ等を通じて香川県内全域広く発信することができた。
- ・地元紙に、古里の魅力を発信する喜びと楽しさを味わった。と掲載され、多くの市民に我々高松J.Cの取り組みを知っていただけた。
- ・引率の先生、保護者には我々の運動を知ってもらいJ.Cの知名度を上げることに成功した。
- ・しかし、まだまだ一般市民の知名度は低いので我々の運動の更なる拡大のために、協力団体に対して継続的な働きかけが必要である。

Best Local empowerment program

ページ 3

Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

What were the objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい



~~私達 J C I 高松が行う本事業は、地域の魅力を発信し、持続可能な地域社会を確立するため、ことを目的とする。~~

~~この目的のために、私たちは地域社会の為に自発的・積極的に行動する若い市民 (ACTIVE CITIZENS) を育成することを目的として実施した。しなければならない。~~

~~事業実施の目的は以下の通り。~~

~~・ 駅弁コンテスト~~

~~高校生に駅弁のレシピ制作、試食、販売体験を実践してもらうことでまちづくりの楽しさ、重要性を感じていただく。~~

~~・ ミニ番組コンテスト~~

~~番組制作を通じて地域の魅力を発見し、また他者とのつながりを感じてもらう。~~

~~-(1)- ・ 写真展~~

~~普段の何気ない景色の中にも誇れる地域の魅力があると感じてもらう。~~

~~そのために、私たちは若者達が持続可能でより魅力ある地域社会造りに前向きに取り組むように POSITIVE CHANGE を起こす機会を与えることを目標として事業を実施する。~~

~~具体的な目標としては以下の通りである。~~

~~これからの未来を担う若者達をターゲットとして、地域の魅力、課題を発信する若者達自身が地域の課題を克服する方法について考え、行動する機会を与える~~

~~JCI 高松が地域の公共団体、民間企業とのネットワークを構築し、彼らをこの事業に巻き込み、より大きな運動とする。~~

~~-(2)- 参加者である若者やイベントの来場者に JCI の事を知ってもらい、JCI の知名度を上げ会員拡大を行う。~~

書式変更: インデント : 最初の行 : 1 字

書式変更: 標準, 行頭文字または番号を削除

書式変更: インデント : 最初の行 : 2 字

書式変更: 標準, インデント : 最初の行 : 2 字, 行頭文字または番号を削除

## How does this program align to the JCI Plan of Action

この事業は、どのように J C I の活動計画と合っていますか？

活動計画のどの部分に合致しているのか？合致している部分の詳述してください。

\*JCI Action plan のシートを参照

・当該事業は、地域の公共団体、民間企業とのつながりを構築して運動を行ったことで地域社会に持続可能なインパクトをもたらした。

・当該事業は、高校生が互いにコンボレートしたことにより、同じ目標に向かって問題に取り組むという姿勢・意欲をもたらした。

上記のとおり、この事業はJCIの活動計画のうち

1. インパクト（影響力） 2. モチベーション（意欲） 3. コンボレート（協働） 4. コネクト（つながり）と合致している。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

予算上の工夫と、予算の内訳の概算を記述してください

より持続可能で大きな運動にする為、多くの諸団体から協賛金を募り25社、25万円の協力を得ることができた。

多くの市民に参加いただくためのポスター、ちらし作成費に金5万9,850円を要した。

当初作成したチラシでは当初予定していた応募・参加が伸びなかった為、追加でチラシを作成した。結果、金1万8991円の追加の差異が生じた。

書式変更: インデント: 最初の行: 1字

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、JCIのミッションと、ヴィジョンを推進しましたか？

ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

JCI MISSIONの推進

高校生が主体性をもって事業を展開したことにより、意識がポジティブチェンジした。積極的な行動が好循環のスパイラルを生み、より良いネットワークを構築した。

JCI VISIONの推進

この事業をコンテスト形式で行ったことにより、高校生に発展、成長の機会を提供でき、アクティブシティズンとなった。

書式変更: インデント: 最初の行: 1字

ページ4

By number,how many members were involved in this program?

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください

11 MEMBERS

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOMメンバーの参加率は、何パーセントですか？%で記載してください

48 / 114 42%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

・事業前

1. 事業の企画
2. 協力先、後援先への事業説明、交渉及びPR
3. 参加員数増加の為の広報活動
4. 予算管理
5. リハーサル
6. 会場設営

・事業中

1. 事業タイムキーパー
2. コンテスト審査員のアテンド
3. 会場警備
4. 音響管理

・事業後

1. 協力先、後援先への事業報告及び御礼
2. アンケートの実施、集計
3. 決算報告

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

書式変更: インデント: 最初の行: 1 字

ページ5

### Community Impact 社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？

- ・地域で住み暮らす市民がどれほど魅力ある地域造りに関心があるのかを計る為、1日約12,000人の乗客利用者がいる JR 高松駅結果、往来する市民約5,000人が我々の事業について認識してもらった。~~1800人の市民の参加があった。~~
- ・フェイスブックを利用し、市民に事業に参加していただいたが事業時間内に約500件のアクセスがあった。
- ・当日販売された駅弁250個が1時間で完売し、事業の成果を実感した。

## Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください

- ・この事業によって生まれた駅弁を実際に販売したことで、より多くの市民に地域の特産を知っていただき地域の魅力を再認識する場を提供できた。
- ・高校生がこの事業に参加し、学んだことをそれぞれの地域に持ち帰り、伝播できるような体験の場を提供できた。
- ・駅弁販売会社に弁当の販売利益を還元することができた。

ページ6

## Impact on Local Organization LOM への影響

### How did the Local Organization benefit from running this project?

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？

- ・地域の公共団体、民間企業とのネットワークを構築することができた。
- ・事業に携わったメンバーの意識の向上や、スキルの向上に繋がった。
- ・高校生の柔軟な考えに触れ、今後の街づくりの良きヒントを得た。

### How did the program advance the JCI Mission?

どのようにJCIミッションを推進したのか？

- ・高校生への事前説明会を重点的に行い、又、担当教諭との打ち合わせを入念に行うことにより、より能動的に行動を起こすことができるよう促した。
- ・高校生がこの事業を実施したことによって、地域社会の魅力発信は自分達であるんだ、という前向きな意識を持てるようになった。
- ・我々JCI高松メンバーが高校生の柔軟な考えに触れ、街づくりの新たなヒントを得ることができ、POSITIVE CHANGEが起こった。

書式変更: インデント: 最初の行: 0 字

### How did the project advance the JCI Vision?

どのようにしてJCIビジョンを推進したのか？

- ・この機会をただ発表する場とするのではなく、コンテスト形式で他者と競争する場とした。これにより高校生により効果的な発展、成長を促すことができた。
- ・この事業に関わった高校生、地域の公共団体、民間企業が互いの長所を生かし、また短所を補完できるネットワークが構築できた。

ページ7

## Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか？

- ・地域の公共団体、民間企業とのつながりができ、J C I 高松が今後展開する事業の協力が得られる関係が構築できた。
- ・高校生が駅弁の販売など、学校生活では学ぶことのできない実社会を体験したことで意識変革をもたらすことができた。

What changes Would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

一般市民をより多く巻き込んだ事業としなければならない。その為には、青年会議所のメンバーだけではなく関係各所のより強力な支援を受けられるよう働きかけなければならない。